

2018年12月7日

【格付維持/方向性変更】 SMBCグループ各社

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

＜格付見直し結果＞ 格付対象は後記をご参照ください

発行者(証券コード)	発行体格付	格付の方向性	短期債務/CP
三井住友フィナンシャルグループ(8316)	A+(維持)	安定的	—
三井住友銀行	AA-(維持)	安定的	a-1+(維持)
SMBC日興証券	AA-(維持)	安定的	a-1+(維持)
三井住友カード	AA-(維持)	安定的	a-1+(維持)
SMBCコンシューマーファイナンス	A(維持)	安定的→ポジティブ	—

【格付理由】

SMBCグループは、商業銀行業務中心に世界有数の規模を持ち、日本の3大金融グループの一角を占める。証券・投資銀行、カード、リース、消費者金融、アセットマネジメントなどの業務でも市場地位が高い。国内の営業基盤は法人・個人とも極めて強い。海外でも強みのあるプロダクトを複数持つほか、近年は競争力の向上に伴いグローバル企業の「コアバンク」の地位を徐々に築きつつある。「アジア・セントリック」を掲げ、中長期的な視点からアジアに経営資源を重点投入しつつ、アジアを起点にグローバルな金融機関としての発展を目指している。持分法適用関連会社でインドネシアの地場銀行であるBTPNを2018年度下期にも三井住友銀行の現地事業と統合し連結子会社化する考えだ。

収益力は格付対比でやや低く、その向上が課題だ。ビジネスライン及び地理的に収益源の多様化が比較的進んでいるほか、リテール分野の強みや先行して取り組んできた効率化施策により3大金融グループの中での比較優位性はあるが、国内外の厳しい収益環境が響いている。もっとも、対顧客収益は持ち直している。市場関連業務も機動的なオペレーションが奏功して健闘している。構造改革も進めているため、今後も底堅く推移しそうだ。2017年度から中期経営計画において、デジタル化の取り組みなどを通じた500億円のコスト削減効果を見込み、事業部門合計では950億円の増益を計画している。コスト削減についてはさらに数年かけて上積みして1000億円超の効果を目指す。グループ一体運営や生産性の向上は収益力の強化に資するだろう。

リスク選好度は3大金融グループの中では相対的に高いが、グローバルに見ると特に高くない。事業ポートフォリオは商業銀行業務が主体で安定し、事業・地域の両面で多様化が比較的進展している。アジアを中心に新興国固有のリスクが増えているほか、海外を中心に顧客層を広げたりプロダクト与信を拡大したりする動きもあるが、全体として、リスク選好度が大きく高まる様子はみられない。資産の抱えるリスクとして日本の大企業への大口与信集中リスクが大きい。高格付先が中心で問題ない。比較的大きい株式リスクは減少傾向にある。金利リスクは小さいものの、円貨の預貸ギャップが膨らんでおり、潜在的には比較的大きい。長らく拡大が続いた世界経済が減速しつつあるなどの経済トレンドの変化に加え、米中通商摩擦への懸念やグローバルな資金余剰に伴う不均衡の存在など、先行きは不確実性が高まっている。リスクアパタイト・フレームワークの高度化と企業文化への浸透を進め、環境変化への対応力を高めることが重要だ。

リスク耐久力はAAゾーンに見合っている。資産の抱えるリスクは比較的大きいが、資本の充実が寄与している。政策保有株式の削減による改善効果は今後もしばらく見込めよう。2018年9月末の普通株式等Tier1比率はバーゼル3最終化ベースで11.5%（その他有価証券評価差額金及び見合いのリスクアセットを控除すると9.8%）と比較的高い。連結子会社のリース会社を持分法適用関連会社化する一方、インド

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

ネシアのBTPNを連結子会社化することにより、今後、ネットで数十bp程度向上する要因もある。バンキング勘定の金利リスクを考慮しても十分な資本水準を確保している。トレーディング勘定の抜本的見直しも、商業銀行業務中心の事業特性から影響は限定的だろう。

資産の質は健全だ。信用コストは低水準で安定している。与信に占める割合が大きい日本の大企業は高格付先が多いことが寄与している。引当方針が厳格で、大口問題先には高率の引き当てを行っている。グループ化した地場銀行などを通じてアジアなどで地場企業向けや個人向けの与信が拡大している点に留意しているが、全体として、海外向け与信も高格付先が中心で質は健全だ。

流動性は十分に備えている。円貨は国内の個人預金基盤が極めて強く、預貸率も低いことが寄与している。外貨調達には構造的な不安定さを抱えているが、顧客性預金を増強しておりさほど懸念はない。機動的な外貨調達で調達コストを抑制しているほか、国内の住宅ローンを担保にしたカバードボンドの発行により低コストで安定した調達源も広げている。

○三井住友フィナンシャルグループ

SMBCグループの持株会社。格付はグループ全体の信用力を反映しているが、持株会社固有の構造的劣後性を考慮して、グループ中核会社の1ノッチ下にしている。

○三井住友銀行

SMBCグループの中核商業銀行。グループの顧客基盤や収益、リスクの大部分を占め、格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。顧客基盤は大企業、中堅・中小企業、個人とバランス良く強い。2019年度までに国内リテール全店で次世代店舗の展開を完了させて、業務プロセスのデジタル化などの店舗改革を進める計画だ。

○SMBC日興証券

SMBCグループの中核証券会社。グループとの一体性を踏まえ、格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。国内リテール部門で強固な営業基盤を持つ。古くからの顧客に加えて、銀証一体となった営業展開で基盤を拡充している。ホールセール部門もSMBCグループ加入後に再構築を進めている。リテールの収益構成比が高く、証券会社の中では比較的安定して収益を確保できる構造を備える。人員の増加などで経費率は高くなっており、コスト構造には改善の余地がある。

○三井住友カード

SMBCグループのクレジットカード会社。2019年4月にグループの出資比率が66%から100%に引き上げられる。同時に兄弟会社のセディナを傘下に収める。キャッシュレス戦略の柱として、グループにおける重要性はより高まる方向にある。格付はグループ全体の信用力をそのまま反映し、中核会社の三井住友銀行と同じにしている。取扱高が順調に伸び、リボルビング残高も増えている。アクワイアリング手数料や事務受託料も着実に増加しており、今後も営業収益は堅調に推移しそうだ。セディナと合わせると一旦は収益力、リスク耐久力が悪化する懸念はあるものの、中長期的には収益基盤の拡大やコスト削減効果の実現が期待される。

○SMBCコンシューマーファイナンス

SMBCグループの消費者金融会社。グループにおける消費者向け無担保ローン事業の中心的役割を担う。戦略的重要性は高い。これまで利息返還の負担が重く、格付は中核銀行である三井住友銀行の2ノッチ下にしてきたが、負担が減ってグループへの安定的な利益貢献が期待できるようになってきたことから、格付の方向性をポジティブに変更した。営業貸付金は着実に増加している。海外子会社も順調。信用保証残高は銀行がカードローンの与信厳格化や広告を自粛した影響で伸びていない。個人破産が増えるなどの外部要因はあるものの、資産の質は維持されている。三井住友銀行が資金を供給しており流動性に懸念はない。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

【格付対象】

発行者：三井住友フィナンシャルグループ（証券コード：8316）

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	A+（維持）		安定的	
名称	発行総額 （億円）	発行日	償還日	格付
第1回無担保社債 * ¹	1,000	2014年09月12日	2024年09月12日	A+（維持）
第2回期限前償還条項 付無担保社債 * ¹	350	2014年09月12日	2024年09月12日	A+（維持）
第3回無担保社債 * ¹	420	2015年05月29日	2025年05月29日	A+（維持）
第4回無担保社債 * ¹	330	2015年05月29日	2030年05月29日	A+（維持）
第5回期限前償還条項 付無担保社債 * ¹	200	2015年05月29日	2025年05月29日	A+（維持）
第6回期限前償還条項 付無担保社債 * ¹	990	2015年09月28日	2025年10月15日	A+（維持）
第7回無担保社債 * ¹	810	2015年09月28日	2025年10月15日	A+（維持）
第10回無担保社債 * ¹	100	2016年06月03日	2026年06月03日	A+（維持）
第11回期限前償還条項 付無担保社債 * ¹	200	2016年06月03日	2026年06月03日	A+（維持）
第8回期限前償還条項 付無担保社債 * ¹	550	2016年06月13日	2026年06月15日	A+（維持）
第9回無担保社債 * ¹	650	2016年06月13日	2026年06月15日	A+（維持）
第12回期限前償還条項 付無担保社債 * ¹	590	2016年09月12日	2026年09月15日	A+（維持）
第13回無担保社債 * ¹	410	2016年09月12日	2026年09月15日	A+（維持）
第14回無担保社債 * ¹	1,000	2018年03月16日	2028年03月16日	A+（維持）

*¹（実質破綻時免除特約及び劣後特約付）

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

発行者：三井住友銀行

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	AA- (維持)	安定的		
名称	発行予定額 (億円)	発行予定期間		予備格付
発行登録 (社債)	10,000	2018年07月08日～2020年07月07日		AA- (維持)
名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第59回無担保社債	500	2014年04月23日	2019年04月19日	AA- (維持)
第17回無担保社債 * ²	215	2009年02月12日	2019年02月12日	A+ (維持)
第20回無担保社債 * ²	730	2009年07月24日	2019年07月24日	A+ (維持)
第22回無担保社債 * ²	1,000	2010年09月28日	2020年09月28日	A+ (維持)
第23回無担保社債 * ²	500	2010年12月17日	2020年12月17日	A+ (維持)
第24回無担保社債 * ²	400	2011年06月01日	2021年06月01日	A+ (維持)
第25回無担保社債 * ²	300	2011年06月01日	2026年06月01日	A+ (維持)
第27回無担保社債 * ²	400	2011年11月02日	2021年11月10日	A+ (維持)
第28回無担保社債 * ²	300	2011年12月20日	2026年12月18日	A+ (維持)

*² (劣後特約付)

名称	格付	
短期債務	a-1+ (維持)	
名称	担保・保証 保証会社等	格付
コマーシャルペーパー	無担保	a-1+ (維持)

発行者：SMBC日興証券

名称	格付	格付の方向性	
発行体格付	AA- (維持)	安定的	
名称	発行限度額 (億円)	担保・保証 保証会社等	格付
コマーシャルペーパー	10,000	無担保	a-1+ (維持)
名称	発行限度額 (億円)	担保・保証 保証会社等	格付
ユーロMTNプログラム	10,000	Keepwell契約 三井住友フィナンシャルグループ 三井住友銀行	AA- (維持)

発行者：三井住友カード

名称	格付	格付の方向性	
発行体格付	AA- (維持)	安定的	
名称	発行限度額 (億円)	担保・保証 保証会社等	格付
コマーシャルペーパー	2,000	無担保	a-1+ (維持)

発行者：SMBCコンシューマーファイナンス

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A (維持)	安定的 → ポジティブ

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

☆予備格付は、個別債務の最終的な条件が決定されていない段階で予備的な信用格付が必要となる場合に、付与する評価です。個別債務の最終的な契約内容等によっては、予備格付とは異なる信用格付が付されることがあります。

☆MTNプログラムに対する信用格付はプログラムを対象としており、プログラムのもとで発行する個々の債券に対する信用格付ではありません。個々の債券の信用格付は通常、同プログラムの信用格付と同一ですが、クレジットリンク債、インデックスリンク債など個々の債券の契約内容によっては、同一とならない、あるいは格付しないことがあります。R&Iは依頼に応じて、個々の債券にも信用格付を付与することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行：久保 太郎 SMBC日興証券：松島 賢宗 三井住友カード、SMBCコンシューマーファイナンス：大石 竜志
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2018年11月30日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018. 05. 31] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2017. 03. 07] 預金取扱金融機関 [2015. 12. 21] 証券会社 [2017. 05. 19] クレジットカード・信販 [2016. 04. 26] 消費者金融 [2017. 04. 25] 金融グループの格付の考え方 [2018. 08. 09] 規制資本商品等と金融機関等の格付の考え方 [2016. 10. 20]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行、SMBC日興証券、 三井住友カード、SMBCコンシューマーファイナンス
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。